

日本地球電気磁気学会会報 (第 100 号)

1983年8月24日

日本地球電気磁気学会
東京都文京区弥生 2-4-16
学会センタービル
(財)日本学会事務センター内
電話 (03)815-1903

JGGをもっと利用しましょう

JGG編集委員, 前会長 平尾 邦雄

本来ならばJGG力武編集委員長が書かれるのが正当であろうが, 多分前期においてJGGの出版社を変更した責任があるのでこの文を書くことを運営委員会が命じられたのであろう。

総会でもお話しをしたが前期においてJGGのより一層の発展の一助になると考えて出版を昔の日本学会誌刊行センターからテラ学術図書出版に変更した。原因はいくつかあったが一つは商業出版社の意欲的な志向を求めたからであり, かつこの出版社から将来Reidel 出版社を通して販売されることにより, 一層国際的にしようとのねらいがあったからである。

御存知のようにJGGは所謂かたい地球物理関係ではかなり世界的にも名が通ったものであるが, 超高層その他やわらかい分野においても会員諸氏の御投稿を得て, 日本のこの分野の成果もひろめるためにJGG including SPACE PHYSICS という題名にしている。これによりややこの分野の投稿がふえたことはたしかであるが, まだ充分であるとは思えない。残念乍ら昨年度は出版社の引継のためかなり出版もおくれ又論文受領から印刷出版迄長きに失したものもあり会員諸氏からおしかりもいただいた。

このような学会誌或いは論文誌としては早い出版が非常に重要であるのは言うまでもない。早い出版と安価な費用が両立すれば, 内容のよい論文の投稿もふえ, 又それにより評価もあがるというよいフィードバックがかかる筈である。編集委員会においてもこの点に留意すべく, 出来るだけ3~4ヶ月程度で印刷出版をするようにしようと申し合わせをした。勿論このためには色々のステップで努力することが必要であり会員諸氏にも査読をお願いすることも多いので, この段階でも努力をお願いしたいのである。

しかし何よりもよい論文を御投稿いただかなければ始まらないことである。もしこの程度の期間で出版されれば現在の別刷料金とも考え合せると決して他の外国雑誌にはひけをとらないと思われる。

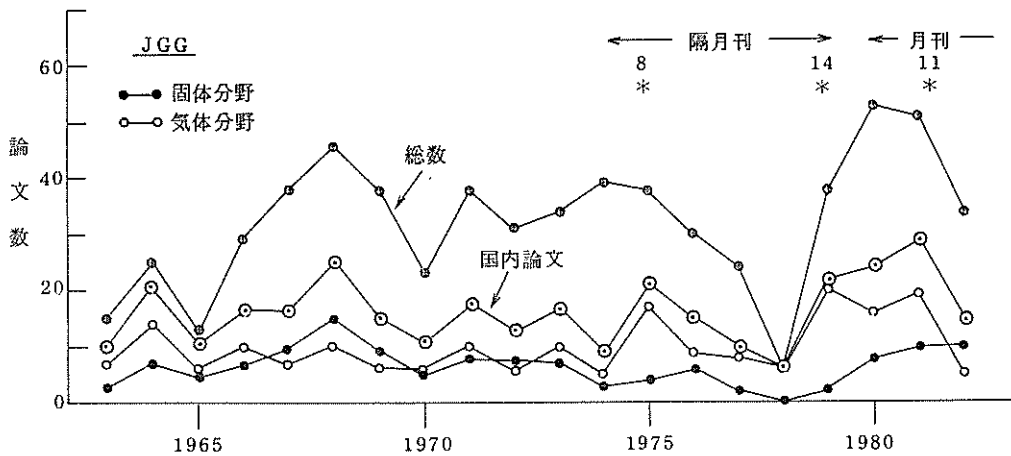
この別刷を利用して同分野の方にくばっていただければ充分研究成果をひろめることもでき且JGGの紙価も高めていただけることになろう。

どうぞ我々の身近かにある我々の学会誌を利用して研究成果を発表して下さい。特に今迄ややもすれば少ないSPACE PHYSICS 関係の御投稿が待たれます。 (会報99号記事, 再掲載)

参考資料

図1 JGG掲載論文数(短報も含む)の変遷。

年度毎の論文総数, そのうち著者を国内在住者とする論文数, さらにそれを固体分野と気体分野(起高層, 宇宙科学)に分けて示す。



(注) *印は人工衛星観測の特集号を含む年を示す。各々, 8篇, 14篇, 11篇の論文を含んでいる。

図2 JGG以外の学術論文誌に発表された, 国内在住会員による気体(起高層, 宇宙科学)分野の論文数(含短報)の変遷。著者の所属が国内研究機関となっている場合のみをとりあげ, 外国研究機関所属となっている場合は, On leave from [国内研究機関]となっても除いた。

RISRJ: Report of Ionosphere and Space Research in Japan

(1973年以後, オリジナル論文は原則として載せないことになった)。

PSS : Planetary and Space Science。

JATP: Journal of Atmospheric and Terrestrial Physics。

JGR : Journal of Geophysical Research。

GRL : Geophysical Research Letters。

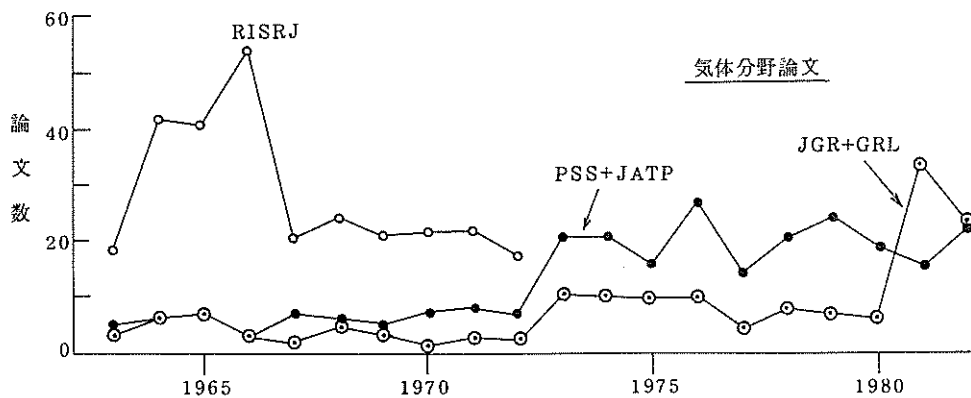
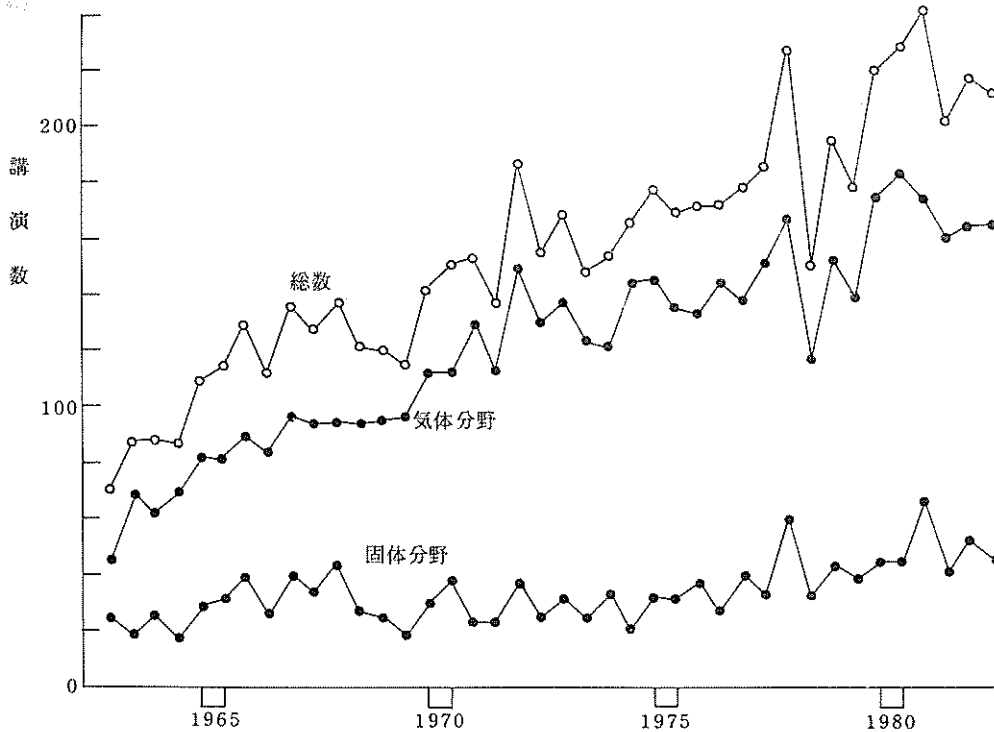


図3 学会講演数の変遷。固体および気体（超高層，宇宙科学）分野毎に分けて示す。



お知らせ

I 日産学術研究助成候補推薦について

助成対象は資源・エネルギーおよび環境分野の研究となっています。御関心をお持ちの方は小口高会長宛照会下さい。なお推薦締切日は11月30日(水)となっています。

II 宇宙科学研究所報告特集号原稿募集

宇宙科学研究所では宇宙科学研究所報告「宇宙科学特集号」の原稿を募集しています。飛翔体を使った研究、または、そのための基礎研究でこの一年間に大きな成果の上った論文を集めて特集号としてと考えておりますのでふるって御投稿下さい。

締切期日 10月末日

原稿送付先 〒153 東京都目黒区駒場4-6-1

宇宙科学研究所

鶴田浩一郎(世話人)宛

電話(03)467-1111 内線328

III 会員名簿作成用アンケートの再度お願い

会報98号でお願いしたアンケートの締切日はすでに過ぎています。提出をお忘れになっておられる方は、今すぐ下記宛郵送して下さいをお願いします。

送付先 〒113 東京都文京区弥生2-4-16

学会センタービル内

日本学会事務センター

日本地球電気磁気学会宛

末尾ページにアンケート回答用紙を再掲しましたので、御利用下さい。

名簿作成用アンケート回答用紙

氏名(漢字) _____ 英文論文で使用されている
ローマ字 _____ 表記をお書き下さい。

学 歴 _____ 大学 _____ 学部 _____ 年卒(西暦)
_____ 大学大学院^(M) _____ 課程 _____ 年卒(")
_____ 大学大学院^(D) _____ 課程 _____ 年卒(")

専門分野 _____

岩石磁気, 磁気圏物理, 電波天文, 程度の分類をお願いします。

勤務先 名 称 _____
住 所 _____
部 局 _____
電話番号 _____

自 宅 郵便番号 _____
住 所 _____
電話番号 _____